

次の設問で「はい」が5つ以上ある場合は、
ニコチン依存症の可能性があります。

- Q1 自分が吸うつもりよりも、ずっと多くタバコを吸ってしまう事がありましたか？
- Q2 禁煙や本数を減らそうと試みて、できなかった事がありましたか？
- Q3 禁煙したり本数を減らした時に、タバコがほしくてたまらなくなる事がありましたか？
- Q4 禁煙したり本数を減らした時に、次のどれかがありましたか？
●イライラ ●神経質 ●落ち着かない ●集中しにくい ●憂鬱 ●頭痛
●眠気 ●胃のむかつき ●脈が遅い ●手の震え ●食欲または体重増加
- Q5 Q4でうかがった症状を消すために、またタバコを吸い始める事がありましたか？
- Q6 重い病気にかかったときに、
タバコはよくないとわかっているのに吸う事がありましたか？
- Q7 タバコのために自分に健康問題が起きていると
わかっているのに、吸う事がありましたか？
- Q8 タバコのために自分に精神的問題*が起きていると
わかっているのに、吸う事がありましたか？
- Q9 自分はタバコに依存していると感じる事がありましたか？
- Q10 タバコが吸えないような仕事や付き合いを避ける事がありましたか？

(禁煙治療のための標準手順書 第5版(日本循環器学会、日本肺癌学会、日本癌学会、日本呼吸器学会)より引用)



●問い合わせ先

帝京大学医学部附属病院内科外来

TEL.03-3964-1211 内線 30214

帝京大学医学部附属病院

〒173-8606 東京都板橋区加賀 2-11-1

TEL.03-3964-1211 (代表)

<http://www.teikyo-hospital.jp>